

試合方式等の変更について

R6 年 4 月 高体連卓球専門部

①インターハイ県予選の試合方式について

生徒、引率教員の負担を減らすため、従来のトーナメント戦+リーグ戦の方式から、トーナメント戦+順位決定戦の方式に変更する。これにより、ダブルスについてはベスト4以降2試合減となる。シングルスについてはベスト8以降12~13試合減となり2日間かけていた日程も1日で消化できることになる。

◇ダブルス

- ・決勝で敗れたペアと、準決勝で1位のペアに敗れたペアが2・3位決定戦を行う

◇シングルス

- ・準決勝で敗れた2名の選手が3位決定戦を行う
- ・準々決勝で敗れた4名の選手が対戦し、勝者は5・6位決定戦、敗者は7・8位決定戦を行う
- ・4位と5位の選手が全国総体出場決定戦(出場枠4名)を行う。ただし準々決勝で対戦している場合はその結果を引き継ぎ決定戦は行わない。

②中部日本・後藤杯予選と東海選手権予選の予選免除対象基準について

それぞれの予選の予選免除者が少なく、JPR上位の選手が参加するので、そのブロックに入った選手の可能性が限りなくゼロに近くなってしまいうため、予選免除枠を増加させる。試合で決める予選通過枠は減るが、多くの選手が予選通過できる可能性が大きくなる。中部日本と東海の出場枠は開催地事情により変動するので、それに合わせて予選免除枠も変動させる。

中部日本選手権・後藤杯予選 (通過枠：後藤杯16 中部日本16~40 開催地事情で変動)

現状 予選免除⇒前年ランク者+IHシングルス出場者+中三4名

改定案 予選免除⇒前年ランク者+JPR上位12名(中学3年生含む)

※この予選には中学3年生は出場不可 中学3年生はJPR上位12名に入っている選手のみ中部日本・後藤杯に出場することができるが出場の意思がなければポイント次点選手を繰り上げ、その中学生は中部日本予選免除ポイント(15pt)を付与する

中部日本 出場枠	中部日本 予選免除	中部日本 試合で選出	後藤杯 出場枠	後藤杯 予選免除	後藤杯 試合で選出	試合方式
16		4 (15pt)	16	12 (15pt)	4 (15pt)	4までトーナメント
20		8 (8pt)				4までトーナメント
24	12 (15pt)	12 (8pt)				4までトーナメント 16の8名で敗者復活戦1回
32		20 (8pt)				4までトーナメント 32の16名で敗者復活戦2回
40		28 (8pt)				4までトーナメント 32の16名で敗者復活戦2回

※参考 過去8年間の中部日本選手権開催地と三重県出場枠

	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
中部日本	20 富山	40 三重	新潟	静岡	24 福井	16 愛知	32 長野	32 岐阜

東海選手権予選（通過枠：24～64 開催地事情で変動）

現状 予選免除⇒前年ランク者＋JPR上位8名

改定案 予選免除⇒前年ランク者＋JPR上位より予選通過枠の半数

東海選手権出場枠による予選免除者 ※（ ）内はポイント

東海選手権出場枠	予選免除	試合で選出
24	12 (15pt)	12 (8pt)
32	16 (15pt)	16 (8pt)
64	32 (15pt)	32 (8pt)

※参考 過去8年間の東海選手権開催地と三重県出場枠

	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28
東海	32愛知	32岐阜	静岡	愛知	32岐阜	64三重	32静岡	64三重